

# 保育の課題に取り組もう! ① 子どもの気持ちに寄り添う保育者とは?

年 組 番 名前 \_\_\_\_\_

教員記入欄

(教科書 p.26)

**Q** 育実先生は、大和くんどんな言葉をかけたのか、友達とロールプレイングをしながら考えてみよう。

評価の観点 思考・判断・表現

評価の観点 主体的に学習に取り組む態度

(1) 保育実習中、悠介は5歳児クラスの大和くん片づけをするように声をかけた。すると「いやだ。ぼく、やらない。できないんだもん。」と言い、かたくなな態度をとった。そこにはどういう理由があったのか、考えてみよう。

①教科書p.26 「大和くんの最近の様子」を見ながら、大和くんの家庭の事情や心境について空欄を埋めてみよう。

②大和くん悠介がかけた言葉は適切ではなかったといえる。どの言葉が、どのような点で適切でなかったか、考えてみよう。

大和くんの最近の様子 より

- ・ふだんは何でも挑戦する明るい子。来年から小学生。
- ・最近、次のようなことをつぶやいていた。

このあいだ、  が生まれた。

お母さんはお世話で忙しく、お父さんは仕事で早く帰れない。

自分が  になったという自覚がある。

→大和くんは、お父さんやお母さんに構ってもらえない。

保育園で先生に  のではないか?



適切でなかった言葉

---

適切でないと考える理由

(2) あなたが育実先生だったら、大和くんにどのような言葉をかけるか、考えてみよう。

①大和くんが、育実先生の声かけに対して「…ぼく、片づけするよ。頑張ってみる!」と言ったのは、どういう心境になったからか、想像してみよう。

②あなたなら、大和くんにどのような言葉をかけるか、自分で考えてみよう。



(3) 悠介、大和くん、育実先生の会話をロールプレイしてみよう。その中で、大和くんにとって保育者はどのような存在であるのがよいか、あなたの考えを書いてみよう。(時間がなければ3人の会話を読むだけでもよい)